

経営統合に向けた基本合意書締結について

2015年10月15日(木)

あなたと、コンビニ、

FamilyMart

株式会社ファミリーマート

代表取締役社長

中山 勇



U G H D

ユニーグループ・ホールディングス株式会社

代表取締役社長

佐古 則男

基本合意のポイント

統合ストラクチャー

- 3月10日の発表内容から変更なし
- ファミリーマートとユニーグループHDが合併し、持株会社化
- CVS事業はファミリーマートとサークルKサンクスが統合
- HD本社及びCVS事業本社：東京都、GMS事業本社：愛知県稲沢市

合併比率

- ユニーグループHD株式1株に対し、ファミリーマート株式0.138株を交付

統合後計画

- 統合後5年以内の目標数値を設定
- 統合後計画実現に向けた諸施策の大枠を合意

統合準備

- 統合準備を加速させるべく、新たな検討体制を発足
- 経営体制、CVSブランド等の重要事項を今後検討・決定
- 不採算店舗の閉鎖等の早期実現

本経営統合による効果

	今期見通し(2016年2月期)			統合後 (5年以内)
	ファミリー マート	ユニー グループHD	合計	新統合会社
国内グループ 売上高	2.0兆円	1.8兆円	3.8兆円	5兆円以上
連結営業利益	469億円	210億円	679億円	1,000億円以上
連結純利益	210億円	15億円	225億円	600億円以上
連結ROE	7.5%	0.5%	--	12%以上
CVS・GMS・ SM国内店舗数	11,930店	6,712店	18,642店	2万店以上
CVS・GMS 海外店舗数	5,960店	4店	5,964店	1万店以上

注：経営数値：2016年2月期見込。

店舗数：2016年2月末見込。エリアフランチャイズを含む

統合後の取り組みについて

CVS事業

- ブランドの一本化
- 商品調達力の強化
- 商品開発力の強化
- 物流センター等のインフラの集約
- 情報システム等の統合

総合小売事業

- 東海・関東圏へのフォーカス
- CVS事業の調達力・サービスの活用
- 新しい店舗フォーマットの開発
- イーコマースの協業

その他グループ事業

- 両社が持つ事業基盤を活用し、新たな事業モデルを構築

上記に加え、収益の最大化に向け、不採算店舗の閉鎖を含めた、抜本的な改革を推進

統合に向けた検討

■「統合検討委員会」を一步進めた、「統合準備委員会」の設置

■今後の主要検討事項

- 企業理念
- 新会社・グループの社名
- CVSブランドの取り扱い(一本化を軸に協議)
- 経営陣
- 組織・人事体制

日程(予定)

基本合意書締結	2015年10月15日(本日)
---------	-----------------

吸収合併契約・吸収分割契約締結	2016年4月迄(予定)
-----------------	--------------

吸収合併契約・吸収分割契約承認 両社定時株主総会開催	2016年5月26日(予定)
-------------------------------	----------------

最終売買日(ユニーグループHD)	2016年8月26日(予定)
------------------	----------------

上場廃止日(ユニーグループHD)	2016年8月29日(予定)
------------------	----------------

吸収合併・吸収分割効力発生日 経営統合	2016年9月(予定)
------------------------	-------------

「日本を代表する小売グループ」を目指す

あなたと、コンビニに、

FamilyMart



U G H D

本資料は一般公衆への情報提供を目的とした公表文であり、ファミリーマート又はユニーグループHDの株式その他の有価証券の勧誘を目的とするものではありません。本資料に記載された将来情報は現時点における両社の見通し、計画又は予測に記載したものであり、日本経済の動向、他社との競合、事業計画の進捗、原材料価格、人件費又は賃料の増加その他の要因により、実際の業績等と大きく異なる可能性があります。